

つたえよう日永つつくおどり
運営委員会 企画部
部長 田中哲朗さん

日永つつくおどり保存会
会長 伊藤邦英さん



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：10月11日～11月10日
月水金日 9：30・20：30
火木土 12：30・20：30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

日時：10月8日
8：54・14：54
10月22日
8：54・15：54

市指定無形民俗文化財「日永つつくおどり」。昨年には、もっと多くの人に踊ってもらいたいと、現代版つつくおどりとして新曲2曲も製作されました。今回は、2020年の400年祭に向けて奔走するお二人にお話を伺います。

■歴史ある踊りを継承する

日永つつくおどりは、「地固め」という基礎工事の動作が取り入れられていることが特徴で、約400年前から継承されてきました。日永つつくおどり保存会では、各地のイベントで踊りを披露したり、小学校の総合学習で踊りを教えたりして、その保存と普及に努めています。

また、後継者育成にも力を注ぎ、今年からは踊り手やおはやし(太鼓・笛)、歌手の登録制度を設けて、担い手不足の解消に取り組んでいます。



▲歌声を響かせる伊藤さん(両聖寺の盆踊りにて)

■記念すべき400年祭に向けて

日永つつくおどりは、1620(元和6)年に書かれた手記を起源の裏付け資料としていて、2020(平成32)年に400年目を迎えます。これを機により広く皆さんに知ってもらいたいと、「つたえよう 日永つつくおどり」という祭りを5年前から毎年開催してきました。

今年は、近隣高校の生徒で実行委員会を立ち上げて



ステージ企画を運営する他、設営・撤収や看板製作など、さまざまな場面で学生たちが活躍してくれます。高校生が輪に入ると盛り上がりやすく、特に伝えていきたい世代である若い人が関わってくれるのは、とても良いことだと思います。つつくおどりを広めるための祭りではありますが、学校や企業、団体などを巻き込んで、地域の交流の場にしたいですね。そして、みんなで支えて踊りを継承していければと思います。

■四日市の文化、そして三重の文化へ

400年続く伝統文化が、この地域にあると知ってもらえるとうれしいです。そして、四日市の文化、三重の文化として広がっていけばと思います。そのために、まずはぜひ祭りに来て、見て、体験してほしいですね。



第6回つたえよう日永つつくおどり～400年祭に向けて～

時 10月14日(土) 9：30～14：00 (雨天順延)

所 日永小学校グラウンド(日永四丁目5-13)

内 日永つつくおどりの正調・新曲、特設ステージなど

[同時開催] 日子連まつり

問 伊藤 (☎346-4801)

出店も多数あり

有料広告掲載欄

三重のニュース
いっぱい!

伊勢新聞

本社：津市本町34番6号 PC・スマホ・タブレットで
☎059-224-0003 伊勢新聞 検索

●購読のお申し込みは、お近くの販売店へ。●



本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。